

名前 _____

理科

基本メニュー (☆☆☆) …必ずやりましょう。

	チェック
① 授業用テキストを読み直す (太字になっている部分は書いて覚えるとよい)	
② 宿題用テキストの基本問題A・Bを解く	
③ 週テストの見直し (間違えた問題の見直し)	

応用メニュー (☆☆) …基本メニューが全て終わって、余裕があればやりましょう。

	チェック
① 宿題用テキストの練習問題Aを解く	

発展メニュー (☆☆☆) …チャレンジしたい人はやりましょう。

	チェック
① 宿題用テキストの練習問題Bを解く	

担当より一言

今回は月(2)について学びました。

授業用テキストの18ページを見ながら、地球に立たせる人の位置によって何時になるか確認しましょう。まずは、太陽が真上にある人がお昼の12時ごろ、逆にその反対側が夜の24時ごろであることを確認しましょう。太陽の光が当たっている部分と当たっていない部分の境目は、地球の自転する方向が反時計回りであることを利用し、朝なのか夕方なのかを考えていくようにしましょう。

また、それぞれの月が時刻によってどの方角に見えるかは非常に重要であり、問題でもよく出題されます。ここはすべて暗記するものではありません。18ページの図のように地球に人を立たせて、その人から見てそれぞれの月がどの方角にあるか、分かるようにしていきましょう。最終的には自分で満ち欠けの図を書けるようにし、自分で地球に人を立たせて、問題が解けるようになりましょう。

それぞれの月が時刻によってどの方角に見えるかは、表を使って問題を解くこともできます。21ページの表をさっと書けるようにしておく問題と問題を解く速度が上がります。この表も丸暗記せず、月の満ち欠けの順を書き出し、1か所だけ時刻を覚えておき、6時間ずらして時刻を書いていだけで表を完成させることができます。

社会

基本メニュー（☆☆☆）…必ずやりましょう。

	チェック
①授業用テキストを読み、基本問題を解く前に少しでも覚える	
②宿題用テキストの書き込み教科書に取り組む	
③宿題用テキストの基本問題A・Bを解く	
④週テストの見直し（間違えた問題の見直し）	

応用メニュー（☆☆）…基本メニューが全て終わって、余裕があればやりましょう。

	チェック
①宿題用テキストの練習問題A・Bを解く	

発展メニュー（☆）…チャレンジしたい人はやりましょう。

	チェック
①宿題用テキストの発展問題を解く	

担当より一言

今回は、「農業」の中でも、小麦、豆類、いも類、くだものについて学びました。

まず小麦について。「最近小麦を食べましたか？」と聞かれて「食べてない」という人はいないのではないのでしょうか。パン、うどん、ラーメン、ケーキなどなど、多くの食べ物で小麦は使われています。米よりもむしろ小麦の方が多く食べているという人もいられるかもしれませんね。

そして豆類。よく口にしているのは大豆でしょう。納豆のようにそのままの形で食べるほか、とうふやみそ、しょうゆの原料になっているので、最近食べてないという人は少ないと思います。

これら小麦と大豆に共通するのは、外国からの輸入にたよっているということ。だから、外国からの農作物の輸入が減ったり、外国産の農作物の値段が高くなったりすると、日本人の食生活にも大きな影響があります。これだけ日本人が食べているものですから、なくても平気とは言えない状況にあります。

さて、今回農作物の都道府県別の順位がいくつものっていましたね。必ず聞かれるのが「覚えた方がよいですか？」ということ。これについての答えは「覚えてください」となります。中学入試では、都道府県別の生産順位を知っている前提で作られているもののほか、都道府県や農作物が表やグラフでそのままカッコとなって問われることも少なくありません。覚えていることが当たり前ですので、覚えなければなりません。

ただし、いきなり全部覚えるのは難しいです。丸暗記するのが大好きな人は、決して多くないと思います。そこで、4年生のうち、次のことに目を向けて覚えていきましょう。

①重要度をふまえて覚えていく

それぞれの農作物にはA～Cの重要度がついています。いきなり全部覚えるのではなく、1位や2位など生産の多い都道府県から覚えましょう。それでもきつい場合は、まずはテキストにのっている農作物名を聞いたら、1位の都道府県をすぐに言えるようになることを目指しましょう。

②「なぜそこでさかんなのか」に注目する

例えばりんご。涼しい気候が向いている作物だから、青森県が1位になっています。この視点で2位の長野県を見ると、標高が高くて長野県も涼しい気候ということに気づくと思います。地形や気候に注目することで、覚えやすくなるのです。次回の野菜では、促成栽培や近郊農業など、これまでに学んだ気候や大都市への近さなどもさかんな理由として重要になります。

農作物の順位については、もし家族の協力を得られるなら、クイズ形式で出してもらおうと早めに覚えられます。例えば「みかんの1位は？」とか、「順位が山梨・長野・山形のくだものは？」という風にです。

次回の週テストに向けて、少しずつ準備をしましょう。